

【中学校特別活動における活用案】
第2学年「将来の生き方と学習」における活用について

- ～ 基本的な考え方 ～
- 本案は、中学校学習指導要領特別活動の内容A学級活動の(3)を受けて構成されており、望ましい職業観・勤労観の醸成を図るため、郷土の先賢の生き方等について記載された「ひむか学」ホームページを活用する基本的な学習の流れを示している。

主な目標は以下のとおりである。

・ 生徒が様々な職業及び職業生活について理解するとともに、人は何のために働くのか、なぜ働かなければならないのかを考え、将来、職業人、社会人として積極的に社会にかかわり、生きがいのある人生を築こうとする意欲・態度をもたせる。

■ 「ふるさとみやぎきを愛した人」の高木兼寛や後藤勇吉等、他の先賢についても同様の活用を図ることができる。

学習の流れ		「ひむか学」ホームページの活用例	
		ページ	活用とねらい
導 入	1 オリエンテーション	ひむか学の教材名	
	・ 学級の生徒全員を対象に行った「将来就きたい職業」の調査結果を聞く。 ・ 本時は、働く目的や学習することの意義について考えることを確認する。		
展 開	2 働く目的を考える。		
	(1) 「生活と進路」の p.12～13「なぜ働くのかー自分はこう思う」を読み、重視するものを選んで発表する。 (2) コンテンツを開き、石井十次の働く姿を調べる。 (3) 分かったことを発表し合い、働く目的について考えを深める。 ・ 自分が気付かなかった点や参考になった意見を学習プリントに記入する。	石井十次 「どんなことをした人なんだろう」「どんな人だったんだろう」	・ 労働を尊び、理想郷づくりに全精力を注いだ十次の姿を参考にしながら、働く目的について考える。
終 末	3 学習することの意義を考える。		
	(1) コンテンツを開き、安井息軒の学ぶ姿を調べる。 (2) 家庭学習や授業への取組を振り返るとともに、今自分は、何のために学んでいるのかを考える。	安井息軒 「どんな人だったんだろう」	・ 「三計の教え」や息軒の座右の銘の意味を考えることをとおして、これまでの学習生活を振り返る。
	4 今後、自分はどんな目的でどんな学習をするのかを考え、学習カードに記入する。		
	・ 働く目的と学習することの意義を関連付けて考えるようにする。		
	5 次時は、学校や家庭で学習を進めていく上で、どうすれば学習効果が高まるのかを具体的に考えていくことを確認する。		